



かつて、関大の敷地は、千里山遊園だった。現在の関大
館付近に人工滝があったのだ。(佐々木豊秋氏著「なつかし
き大阪―写真でたどる大阪の歴史・魅力再発見―」より)

9条は日本の宝! 吹田のつどい'09

とき 2009年2月7日(土) 午後6時半開場 7時 開会

場所 メイシアター中ホール

講演 「戦争のほんとうの怖さ
を知る財界人の直言」

品川 正治さん (経済同友会終身幹事)

入場料 500円 *文化行事もあります

主催 9条は日本の宝!吹田のつどい'09実行委員会
事務局 吹田市役所九条の会 ☎06-6386-4428



1924年神戸市生まれ。東
京大学法学部卒。現在、経
済同友会終身幹事、国際開
発センター会長。日本興亜
損保(旧日本火災)社長・会
長を経て、91年から相談役。
各地の「九条の会」などで
精力的に講演活動続ける。



「大洪水よ、我が亡きあとに來たれ!これがすべての資本家およびすべての資本家国家のスローガンである。それゆえ、資本は、社会によって強制されるのでなければ、労働者の健康と寿命にたいし、なんらの顧慮も払わない!これは、マルクスが「資本論第1部第3編第8章」の「労働日」中で、イギリスでの工場法制定に先立つ労働者の過酷な労働実態を詳述している箇所での一節である。この間、期間工・派遣工に対する雇用の一斉打ち切りをすすめる日本の自動車産業資本の姿をみると、マルクスのこの一節は「労働者の雇用」についても当てはまるようである。しかも、ある日本の自動車企業は赤字見込みではなく、経常利益が前年より減少見込みであること理由にしているにすぎない。一方で株主配当は増やす予定で、社内の剰余金も潤沢である。私の父は今年3月に84歳の生涯を閉じたが、私が小さい頃よく「弱きを助け、強きをくじけ」と教えていた。「このままでは年を越せない」との期間工や派遣工の痛切な訴えに、まともな経営者であれば「弱きを助け」との想いが浮かぶはずである。それともやはり、社会によって強制されるのでなければ、なんらの顧慮も払わないのであろうか。

(刊行委員長/弁護士・徳井義幸)

頑張れ! センチュリーコンサート

2009年 3月3日(火)
午後 7時開演 (午後6時開場)
ザ・シンフォニーホール

入場料 3,000円 (全席指定)



指揮 小泉和裕 指揮 金聖響 ソプラノ 中丸三千緒
ゲスト 池辺 晋一郎 司会 日下部 吉彦

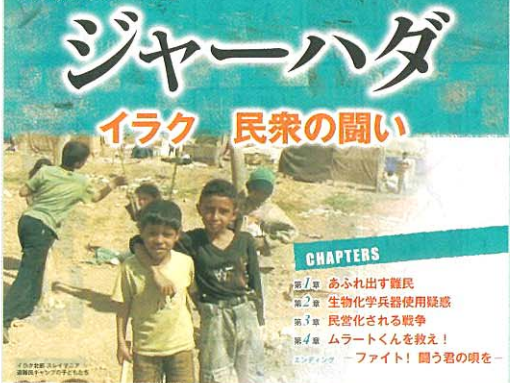
夢と感動を運んでくれる
センチュリーの響き

PROGRAM
ヴェルディ「シチリア島の夕べの折り」序曲
プッチーニ「トスカ」より「歌に生き 愛に生き」他
ラベル「ボレロ」
ワーグナー「ニルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲
ストラヴィンスキー「火の鳥」1919年版 他

チケットのお求めは
ABCチケットセンター 06-6453-6000 電子チケットびあ 0570-02-9999
(Pコード: 311-646)

大阪センチュリー交響楽団を応援する会 ☎06-6949-4646

西谷文和のイラクDVD 好評発売中!!
戦争あかんシリーズ③



**10名の方に
プレゼント**

本誌読者10名の方にDVD「ジャーハダ」をプレゼント。ご希望の方は、このページ掲載のファックスかメールで、「住所・名前・電話番号」記載の上、お申込下さい。当選発表は発送をもって代えさせていただきます。

購入希望の方は、定価1000円(送料200円)。ご注文は、イラクの子どもを救う会(FAX06-6192-7033)まで。

ジャーハダ...アラビア語で「闘い」、「ファイト」の意

編集後記

▼「おバカキャラ」が紅白にも出て、もてはやされるのは「勝手にどうぞ」ですむけれど、まさか、漢字が苦手なアノ人はその人気があやかっているわけではないでしょうね。年の瀬に未曾有の首切り。09年こそは国民生活を守る政治に。

▼西谷文和さんのイラク報道を娘と見た。現地でも苦しむ子どもたちの映像に、「お父ちゃん、これは日本のことと違うのやろ。何でこんなかわいそうなんテレビでうつすん?」「日本も原爆の後同じようなことがあつてん、戦争はあかんてことをみんなに教えてはるんや」 (かえり)

▼アメリカ発の金融不況、大量首切り、内定取消、このような激動の時期に無策な麻生政権。腹の立つことばかりですが、「貧困なくせ」「国民生活守れ」の声を大きくする時期ですね。 (八)

▼12月というのに「みぞゆう」な暖かさ。この調子だと来年の夏は熱帯夜が「はんざつ」に訪れそうだ。京都議定書を「ふしゅう」して断固たる温暖化対策に取り組むべき。と、いつかこの号が本年の締めくくり。みなさん健康に留意され、「かいが」されませぬように。 (二)